

2003年2月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度では、南北蛇行が大きく、アラスカからカナダ西岸にかけてとスカンジナビア半島付近ではリッジが発達し、一方、ヨーロッパ南部では深いトラフ場となった。東アジアは中国東北区を中心とした正偏差域に覆われた。

偏西風は、太平洋の亜熱帯ジェットは太平洋東部から米国南部で平年より強く、大西洋では平年よりも北寄りだった。ユーラシア大陸の亜熱帯ジェットは北アフリカから西アジアにかけて平年より強く、中心軸は平年より北寄りだった。

対流活動は、日付変更線付近では今月も引き続き平年よりかなり活発で、南太平洋収束帯 (SPCZ) は平年に比べて東偏していた。インド洋東部からインドネシア付近では平年並か平年より活発となった。オーストラリアの北東の南太平洋西部やフィリピン付近では平年より不活発、太平洋中部から東部の ITCZ (熱帯収束帯) では平年並だった。

200 hPa 速度ポテンシャルの分布図では、平年ではニューギニア島の南東に位置する大規模発散の中心は、オーストラリアの北部と日付変更線の西側に分れていた。

SOI (南方振動指数) は-0.5となり、昨年3月以降負の値が続いている。

世界の天候

① モンゴル周辺の多雨

② 中国東部の高温

③ インド北部の多雨

アフガニスタン、パキスタン、インドでは、中旬の大雨により、合わせて70人以上が死亡し、約170人が負傷したと報じられた。

④ インド西部の高温

⑤ トルコの多雨

⑥ ヨーロッパ南東部の低温

ルーマニアのコンスタンツァでは、月平均気温が -2.8°C で、平年より 5.5°C 低かった。

⑦ ヨーロッパ中部の少雨

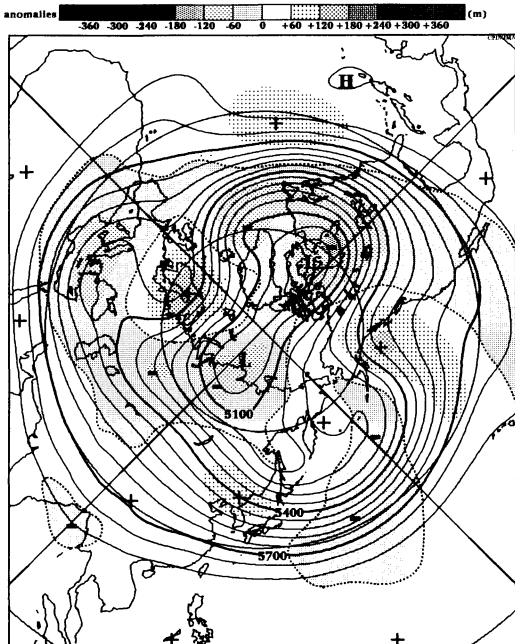
⑧ アフリカ西部の高温

⑨ カリブ海諸国からブラジル北部の高温

⑩ オーストラリア中部から南部の多雨

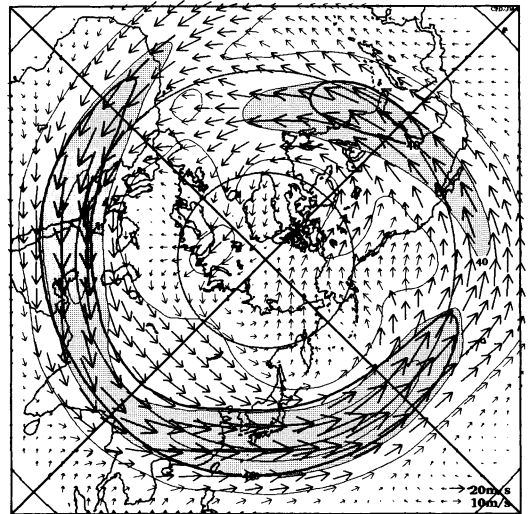
オーストラリア南部のタークースでは、月降水量が110 mm で、平年の534%となった。

(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 川崎 孝)



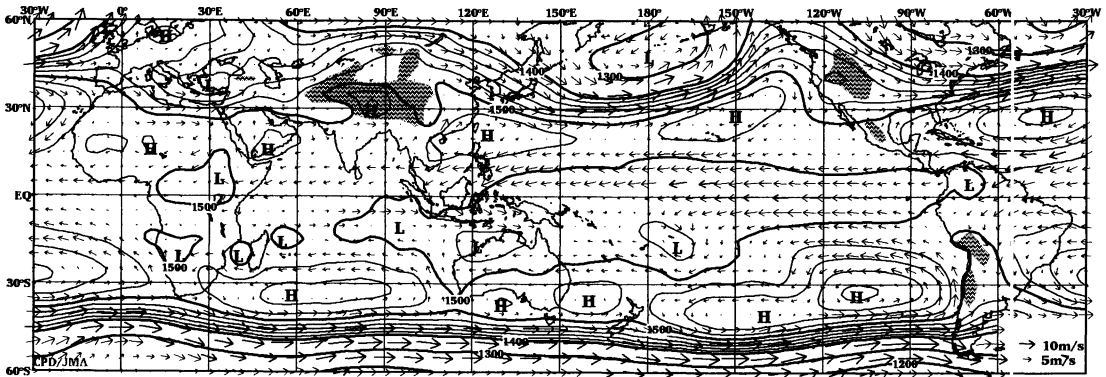
2003年2月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差

等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は60 m. 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。

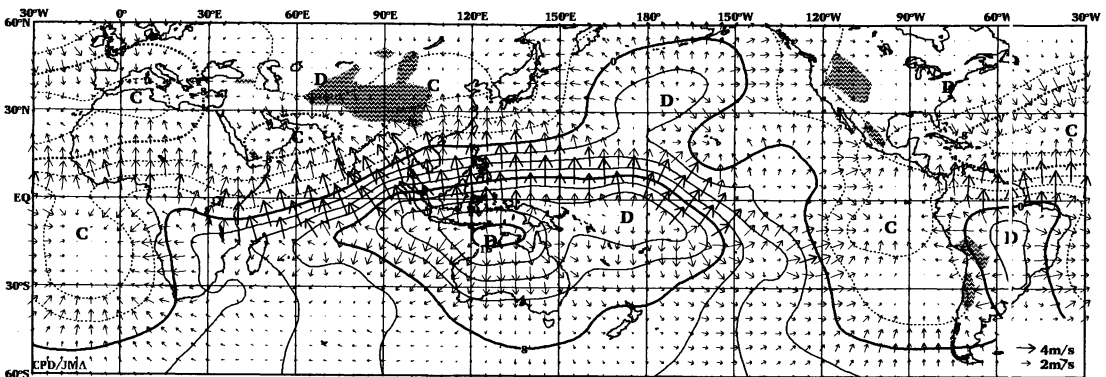


2003年2月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル

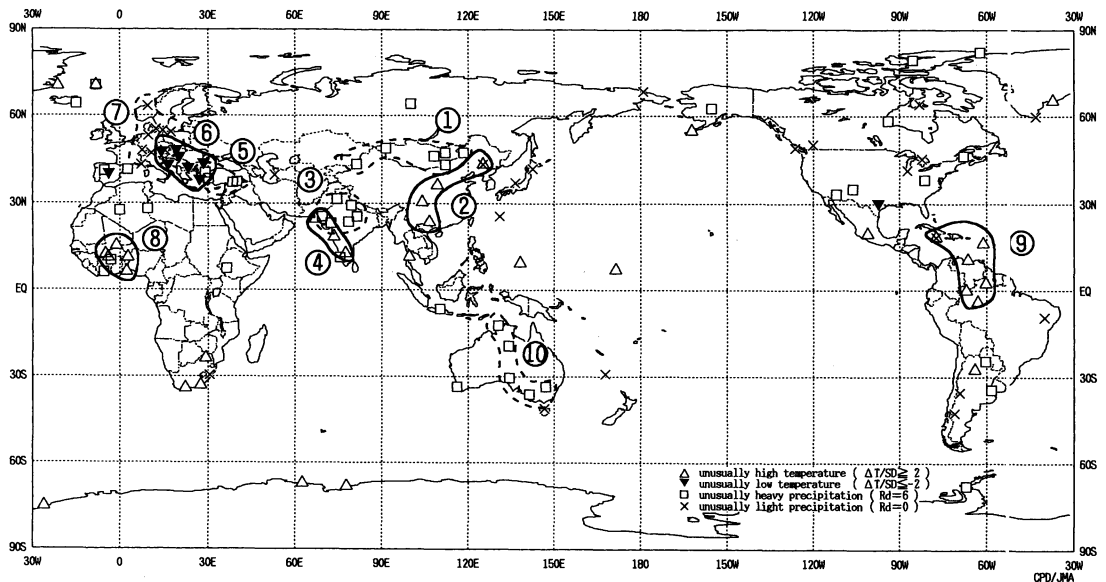
等値線間隔は20 m/s. 陰影部は40 m/s以上. 太実線で囲まれた領域は平年の40 m/s以上の領域を示す. 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



2003年2月の月平均850 hPa高度及び風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2003年2月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2003年2月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.